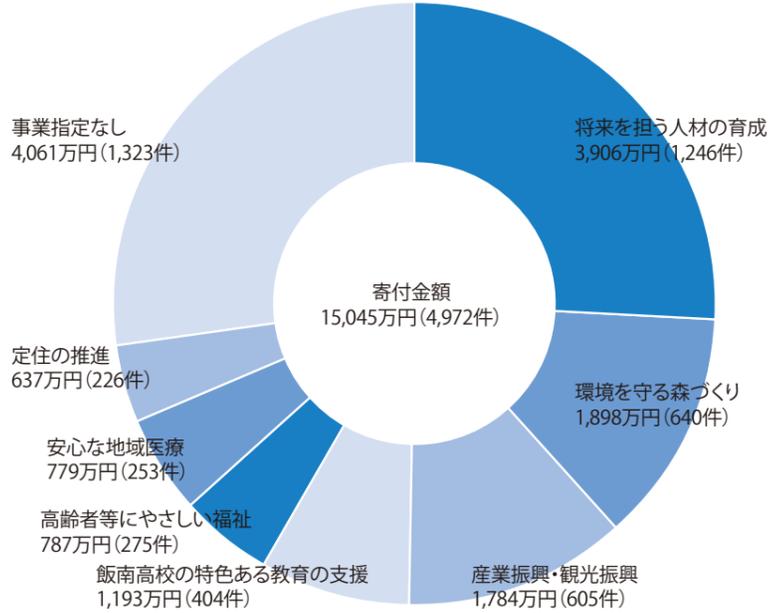


令和元年度寄付額と使いみち

令和元年度も全国の皆さんから多くの寄付があり、その総額は過去最高となりました。



ふるさとへの想い

東京都在住の清原恒成さん（飯南町出身）は寄付者の一人。10年前に東京へ移住し、今は仕事と子育てで大忙しの毎日を送っています。

「ふるさと納税をするとお得」というニュースを聞いてやってみたのがきっかけです。もともと飯南町に帰るつもりだったけど、もう帰らないかもしれない。でも、ふるさとが好きなきなごに変わりはなから」と清原さん。

清原さんは、たまに実家に帰ると、とにかくのんびり過ごすそうです。服装は高校時代の体操服。「のんびりしているところがいいですね。スロー

【ふるさと納税】

生まれた故郷や応援したい自治体に寄付ができる仕組み。寄付者が寄付金の使いみちを指定できるほか、寄付のお礼に地域の特産品などが贈られます。手続きをすると、所得税の還付や住民税の控除が受けられます。（寄付金のうち2千円を超える部分が対象）

未来につなぐ想いのバトン

遊んで、学んで、食べて、眠って、のびのび過ごす子どもたち。子どもたちを育む環境づくりに活用しているのが「ふるさと納税」です。ふるさと納税は、私たちの身近なところに活用されています。今月は、令和元年度のふるさと納税の使いみちを紹介します。

ふるさと納税。

子どもたちを育む環境づくり

飯南町の四季折々の自然を活かした子どもたちの学び場、通称「森の保育所（自然体験活動）」。子どもたちは、ふるさとの森や赤名湿地帯、園庭で虫や植物の観察、室内でも木の実や石を使って工作をしています。この取り組みは、自然との触れ合いを通して感性豊かな人に育ってほしいと、平成30年度から町内4つの保育所で始まりました。

- 地元野菜の給食利用の促進
- 飯南高校魅力化の推進
- 飯南病院歯科口腔科デンタルユニットの設置
- 高齢者緊急通報システムの設置
- 来島高齢者冬季宿泊センターの開設
- エコロジ米栽培技術講習・米コンテストの開催
- 移住相談会・移住体験プログラムの実施

想いをつなぐ

遠く離れたところから、このまちを応援してくれる人がたくさんいます。そんなまちに私たちは住んでいます。飯南町が住みよいまちになるように、寄付者の皆さんの想いを大切に、今年度もふるさと納税をまちづくりに活用していきます。

ありがとうの声

来島保育所の子どもたちと飯南病院の職員からのメッセージを「AR動画」でご覧いただけます。スマートフォンやタブレット端末で、表紙の写真をクリックしてお楽しみください。



AR動画の視聴方法

ARマーク

飯南町HP QRコード

広報いーなんでは、AR（拡張現実）動画を導入しています。詳しい視聴方法は、飯南町ホームページで紹介しています。